

第2期 美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

＜基本目標1＞ 産業を元気にして安定した雇用を創出する

- (1) 基本的方向
 ① 地域経済を支える中小・小規模企業の振興
 ② 農業経営の持続・発展
 ③ 稼げる観光の振興
 ④ 若者の市内就職の促進

(2) 数値目標

数値目標	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R2~R6 累計	R6 目標値	達成率	進捗状況
製造品出荷額等	157億 43百万円 (H30)	159億 43百万円	147億	129億	146億 98百万円		157億 43百万円	93.4%	B
管内学生の美唄市内就職割合 ※ハローワーク岩見沢管内	5.3% (H30)	7.5%	5.8%	9.9%	9.0%		8.0%	112.5%	A

進捗状況の項目
A: 目標値を超えたもの
B: 目標値の約8割以上
C: 目標値の5割以上8割未満
D: 目標値の5割未満
-: 取り組んでいない

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5事業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R2~R6 累計	R6 目標値					
① 地域経済を支える中・小規模企業の振興												
企業立地の促進												
立地支援制度を活用した立地企業数〔累計〕	4社 (H26-H31)	1社	2社	1社	0社	4社	5社	80.0%	B	産業振興条例に基づく助成を行うことで、企業の立地及び産業の振興と雇用機会の創出につなげる。	企業立地は、成長産業の分野の企業で元気な企業が行えるものであり、そのような企業を支援することは、固定資産税収に寄与するばかりか、人口の維持等地域経済の基盤を支えることに寄与するものであるため、今後も推進していく。	経済観光課
中小・小規模企業の経営安定及び生産力の向上												
先端設備導入件数〔累計〕	5件 (H30-H31)	7件	2件	0件	0件	9件	12件	75.0%	C	先端設備導入計画に基づく設備投資への支援を実施。	計画の周知を図り、企業の設備投資を促し生産性の向上を図る。	経済観光課
中心市街地の賑わいづくり												
中心市街地でのイベント開催にかかる参加者数〔累計〕	5,100人 (H31)	2,455人	2,000人	1,122人	983人	6,560人	25,500人	25.7%	D	地域おこし協力隊制度を活用し、様々なイベントの開催などにより、中心市街地の賑わいを創出する。	地域おこし協力隊が中心となり、中心市街地の賑わいを創出するためのイベントを実施した。	経済観光課
新規創業の支援												
新規創業者数〔累計〕	4件 (H28-H31)	2件	3件	5件	1件	11件	10件	110.0%	A	商工会議所と共同実施した創業塾の開催や新規創業に対する支援を実施。	引き続き創業塾を開催するほか、新規創業者のフォローアップを図る。	経済観光課
② 農業経営の持続・発展												
担い手の育成・確保												
新規農業就業者数	33人 (H26-H30)	31人	31人	30人	29人		35人	82.9%	B	農業次世代人材投資事業 農業後継者等の研修等支援事業	Uターン就農者など農業後継者を対象とする研修が充実し、新規就農者への事業支援を行うなど取組を行った。	農政課
農産物の高付加価値化及び販路拡大												
農業産出額	589千万円 (H26-H29AV)	637千万円	628千万円	582千万円	594千万円		650千万円	91.4%	B	スマート農業機械導入補助、ドローン及び水管理システム検証事業、高収益作物導入補助事業	目標値を超えることはできなかったが、ほ場の基盤整備の効果もあり、主要農産物である小麦などの収量が例年を上回ったものの、コロナ禍による米価の下落を受け、目標値の達成とはならなかった。	農政課
農業生産を支える基盤づくりと先進的な技術開発・導入												
法人の組織化数	49件 (H30)	49件	50件	52件	53件		59件	89.8%	B	北海道主催の法人設立研修会への関係機関周知	農業経営の複合化や安定に繋がる施策目標として取り組めたものの、1戸1法人が占める割合が高く雇用の創出に十分な成果を得られなかった。	農政課

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5事業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R2~R6累計	R6目標値					
③稼げる観光の振興												
観光プロモーションの推進												
観光入込客数	31万人(H30)	25万人	25.2万人	29.8万人	34.9万人		60万人	58.2%	C	観光施設、イベント等にて年間入込客数を調査実施	基準値を超える数値であるものの、目標値の半数程度に留まっている。今後は国内外旅行需要を引き込むべく、引き続きPRを継続していく。	経済観光課
地域資源を活用した特産品の開発												
地元農産物等を活用した新商品の開発数	4商品(H26-H30)	3商品	6商品	15商品	2商品	26商品	5商品	520.0%	A	農工商等の連携や6次産業化により美唄で生産された農林水産物を活用した新たな特産品開発や販路開拓の取組に対して助成する。	引き続き、美唄市の農林水産業及び中小企業者等の振興を図るため継続した支援を行う。	経済部参事(農工商連携担当)
インバウンド客の受入れ体制の構築及び受入れ拡大												
外国人観光客宿泊者数	417人(H30)	0人	0人	542人	1201人		10,000人	12.0%	D	外国人観光客宿泊者について市内宿泊事業者に調査	インバウンド需要は高まっており、今後さらなる拡大に向け観光プロモーションを継続していく。	経済観光課
④若者の市内就職の促進												
市内優良企業等の情報発信												
地元企業紹介冊子等掲載企業数※現状値	11社(H30)	11社	22社	22社	22社		20社	110.0%	A	R4に作成した冊子を活用し、情報発信を行った。	市内企業への就職率の向上を図り、若者の流出を防ぎ地元で定着してもらうため市内企業に対し、情報提供を行っていく。	経済観光課
市内高等学校の連携による企業とのマッチング												
合同企業説明会延べ参加者数〔累計〕	32人(H31)	14人	57人	45人	-	116人	200人	58.0%	C	尚栄高校の3年生を対象にした合同企業説明会は中止となったが、全国の求職者を対象にした「バーチャル就職フェア」を開催した。	市内企業への就職率の向上を図り、若者の流出を防ぎ地元で定着してもらうため、市内企業と若者とのマッチングを支援していく。	経済観光課
各種研修会及び資格取得支援												
高校生及び求職者の技能講習受講者数〔累計〕	49人(H30)	33人	32人	29人	1人	95人	250人	38.0%	D	資格取得の一部を助成し、新規学卒者等の就職支援を図る。	若者等の定着のため、継続して支援することが重要であることから今後においても情報提供を行っていく。	経済観光課

第2期 美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

《基本目標2》 美唄の魅力を発信し新しいひとの流れをつくる

- (1) 基本的方向
 ① 移住・定住の推進
 ② 関係人口の創出・拡大
 ③ まちづくりを支える人材の育成
 ④ 外国人材の受入れ拡大と共生

(2) 数値目標

数値目標	基準値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R2~R6累計	R6目標値	達成率	進捗状況
移住者数〔累計〕 ※市の移住相談支援等を受けたもの	8人 (H30)	11人	21人	28人	39人	99人	100人	99.0%	B
社会増減数(転入-転出)	-258人 (H30)	-182人	-166人	-133人	-146人		-206人	141.1%	A

進捗状況の項目
 A: 目標値を超えたもの
 B: 目標値の約8割以上
 C: 目標値の5割以上8割未満
 D: 目標値の5割未満
 -: 取り組んでいない

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5事業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R2~R6累計	R6目標値					
① 移住・定住の推進												
移住相談窓口の設置												
移住相談件数〔累計〕	118件 (H30)	139件	81件	117件	136件	473件	750件	63.1%	C	移住、定住イベントへの出展、助成制度の市広報、ホームページ上での周知	HPや冊子を活用して引き続き助成制度の周知を行うとともに、今後においても移住、定住イベントに出展を行いながら移住に向けた周知を行っていく。	広報情報推進課
移住・定住の促進												
市分譲地販売件数〔累計〕	2件 (H30)	5件	5件	3件	0件	13件	22件	59.1%	C	移住、定住イベントへの出展、助成制度の市広報、ホームページ上での周知	つつじ団地については1区画を残し分譲を終えたものの、新橋団地の分譲が進んでいないことからHPや冊子を活用して引き続き助成制度の周知を行うとともに、今後においても移住、定住イベントに出展を行いながら移住に向けた周知を行っていく。	広報情報推進課
② 関係人口の創出・拡大												
関係人口の構築強化及び可視化												
ふるさと応援団登録数(個人)〔累計〕	-	415人	615人	163人	317人	1510人	500人	302.0%	A	ふるさと美唄応援団の運営啓発物品の作成、配架イベントへの出展	引き続き団員募集のため、周知を行うほか、既存団員の活用ためにSNS等を活用した取り組みを行い、関係人口の増加、定着を図る。	経済部参事 (農商工連携担当)
ふるさと応援団登録数(団体・企業)〔累計〕	-	13件	27件	5件	1件	46件	50件	92.0%	B	ふるさと美唄応援団の運営啓発物品の作成、配架イベントへの出展	引き続き店舗募集のため、周知を行うほか、店舗ごとに利用者数の調査や効果検証を行う。	経済部参事 (農商工連携担当)
ふるさと納税制度の活用促進												
美唄市にふるさと納税をした人の数〔累計〕	6,560人 (H30)	93,546人	113,720人	110,780人	144,965人	463,011人	51,520人	898.7%	A	ふるさと納税の募集 R4 ふるさと納税寄附額 1,721,717千円	引き続き事業を継続し、ふるさと納税を活用しながら、本市の魅力や農産物・特産品等の情報発信に努める。	経済部参事 (農商工連携)
美唄市にふるさと納税をした企業の数〔累計〕	4件 (H30)	6件	5件	10件	8件	29件	20件	145.0%	A	市HPでの周知 パンフレットの作成を行い周知	美唄市版の企業版ふるさと納税パンフレットの更新を行い、新規企業の開拓と継続企業へのアプローチに努める。	企画財政課

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5事業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R2~R6累計	R6目標値					
③まちづくりを支える人材の育成												
未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実												
家庭学習を毎日1時間以上行っている子どもの割合(小学生)	38.5% (H30)	40.2%	42.4%	62.4%	41.3%		42.3%	97.6%	B	「家庭学習の手引き」等の活用による家庭学習習慣の確立 小・中学校と合同で家庭学習強化期間の設定	基準値は超えているものの、前年度に比べ21.1ポイント下がり、目標値より低い結果となっている。今後は、児童の意識の向上と家庭学習の定着に向けた取組をさらに進めていく必要がある。	指導室
家庭学習を毎日1時間以上行っている子どもの割合(中学生)	46.4% (H30)	63.5%	59.7%	59.1%	47.1%		51.0%	92.4%	B	「家庭学習の手引き」等の活用による家庭学習習慣の確立 小・中学校と合同で家庭学習強化期間の設定	基準値は超えているものの、前年度に比べ12ポイント下がり、目標値より低い結果となっている。今後は、生徒の意識の向上と家庭学習の定着に向けた取組をさらに進めていく必要がある。	指導室
郷土に対する愛着や誇りを育む教育活動の充実												
「地域や社会をよくするために何をすべきか」と考えると思う小中学生の割合(小学生)	41.5% (H30)	35.7%	48.3%	50.6%	80.5%		45.6%	176.5%	A	郷土史料館を拠点として、学芸員を中心に美唄の歴史を小中学生を含めた多くの人に伝える。	毎年、順調に割合が上がっていることから、引き続き「美唄学」の取組を進める。	生涯学習課
「地域や社会をよくするために何をすべきか」と考えると思う小中学生の割合(中学生)	27.2% (H30)	53.2%	40.4%	38.2%	60.8%		30.0%	202.7%	A	郷土史料館を拠点として、学芸員を中心に美唄の歴史を小中学生を含めた多くの人に伝える。	急激な数値の上昇理由は不明であるものの、小学校での農業体験などで地元への思いが高まっていると考えられる。	生涯学習課
地域の将来を支える人材育成のための高校の魅力化												
市内高等学校の入学倍率	0.7倍 (H31)	0.6倍	0.6倍	0.7倍	0.8		1.0倍以上	80.0%	B	市内の道立高校が行う教育活動に要する経費の一部を補助し、魅力ある学校づくりを支援する。	前年度からは増加したものの、目標値より低い状況が続いている。「魅力ある学校づくり」に向けた支援策などについて、更に検討を進める必要がある。	学務課
④外国人材の受入れ拡大と共生												
外国人材の受入れ体制の構築												
外国人登録者	50人 (H30)	65人	58人	72人	96人		75人	128.0%	A	外国人にとって住みよい環境づくりのため、美唄在住の外国人に対して、必要な情報提供をHP上で行った。	継続して周知を行いながら外国人にとっても住みよい環境づくりが行えるよう取り組みを行っていく必要がある。	市民課
外国人労働者技能実習生受入れ企業数	3事業所 (H31)	4事業所	3事業所	3事業所	2事業所		8事業所	25.0%	D	外国人労働者への理解促進を図る。	企業の事業継続を図るためにも継続して周知を行うとともに、情報発信の方法についても検討を行う必要がある。	経済観光課

第2期 美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

《基本目標3》 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 基本的方向
 ①結婚・出産・子育てを支える環境づくり
 ②働きながら子育てしやすい環境づくり
 ③子どもたちの安全・安心を見守る環境づくり

(2) 数値目標

数値目標	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R2～R6 累計	R6 目標値	達成率	進捗状況
子育てしやすいまちだと思ふ子育て世代の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	23.0% (H31)	22.0%	23.7%	47.3%	40.7%		40.0%	101.8%	A
合計特殊出生率※独自集計	1.32 (H30)	0.90	0.98	1.04	0.81		1.51	53.6%	C

進捗状況の項目
A: 目標値を超えたもの
B: 目標値の約8割以上
C: 目標値の5割以上8割未満
D: 目標値の5割未満
-: 取り組んでいない

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R2～R6 累計	R6 目標値					
①結婚・出産・子育てを支える環境づくり												
男女の出会いの場づくりの支援												
婚姻率(年間婚姻数/生産年齢人口)	0.40% (H30)	0.59%	0.82%	0.44%	0.53%		0.52%	101.9%	A	結婚新生活支援事業を継続。	結婚新生活支援事業を継続し、制度の周知に努めて更なる婚姻率の増加を促す。	広報情報推進課
女性の妊娠・出産及び乳幼児のための健康づくり												
自分が健康だと思ふ18歳から49歳までの女性の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	81.7% (H31)	75.0%	71.4%	73.7%	77.3%		90.0%	85.9%	B	各ライフステージに応じた、栄養相談や健診、健康教育・健康相談を実施。令和3年10月～「子育て世代包括支援センター」を開設し、妊娠前から切れ目のない支援を実施。	女性が、健康を意識し健康づくりに取り組むことができ、また、安全安心な妊娠出産を経て育児ができるよう、支援体制の充実を図り、主観的な健康観を高めていく。	健康推進課
子育て相談・情報発信の充実												
スマホアプリの子育て情報登録者数	-	0人	0人	670人	720人		640人	112.5%	A	「スマホアプリ」内に子育てに関する情報を設定した。	更なる登録者数増に向け、市内周知を強化する。	こども未来課 広報情報推進課
子育て世帯の経済的負担の軽減												
どさんこ子育て特典制度市内登録店舗数 ※現状値	4件 (H31)	4件	10件	11件	10件		25件	40.0%	D	市町村、商工団体、企業等の理解と協力を得ながら、社会全体で子育てを支援する。	制度の周知、理解を図り、登録店舗数の増加を図る。	経済観光課
②働きながら子育てしやすい環境づくり												
保育サービスの充実												
ファミリーサポート登録者数 ※現状値	12人 (H31)	11人	12人	12人	10人		20人	50.0%	C	共働き家庭や子どもを養育する家庭の支援にあたるため、託児を実施	登録者の高齢化による退会が進む一方で、新規登録が増えていないため、引き続き登録者数の増加を図るため、ファミリーサポート講習会受講への支援を行っていく。	こども未来課
3歳未満児の保育施設での受入れ数	74(H31)	77人	71人	66人	67人		62人	108.1%	A	入所状況の迅速な情報提供	3歳未満児は、保育の中でもニーズが高く、目標の受け入れを実施しており、子育て支援という保育環境の向上に大きな成果があったものとする。なお、3歳未満児の保育は、引き続き高いニーズが見込まれる。	こども未来課
育児中の親の労働環境の整備												
北海道働き方改革推進企業の認定数 ※現状値	7社 (H31)	7社	4社	6社	7社		17社	41.2%	D	働き方改革に取り組む企業が社会的に評価される仕組みにより、企業の自主的な取り組みを促進する。	制度の周知を図り、認定企業数の増加を図る。	経済観光課

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R2～R6累計	R6目標値					
③子どもたちの安全・安心を見守る環境づくり												
安全・安心な通学等の環境づくり												
びばいせわずき・せわやき隊登録者数 ※現状値	61人 (H31)	46人	43人	39人	35人		67人	52.2%	C	登下校時の声かけ・見守り、一斉見守り活動等	高齢化により、会員数が減少しているところである。今後においても団体の意向を確認しながら、必要な支援を行っていく。	こども未来課
子どもの遊び場の充実												
子育て支援センター利用者数(日)	21人 (H30)	21人	22人	17人	17人		23人	73.9%	C	子ども子育て講座を57回実施し、延べ参加者数は、大人265人 こども368人となった。また、はみんぐ祭も開催し、大人37人 こども41人の参加があった。また、子育て支援センターの利用者の1日平均利用者数 大人7.4人 こども9.2人となった。	毎月、様々なイベントを開催するほか、休日開館も定期的実施し、親子連れで利用しやすい環境づくりに取り組んできたところである。また、出生率の低下等もあり、利用者数も減少しているため、より子育て支援となるような効果的に利用しやすい環境づくりに努めていく。	こども未来課
公園の満足度 (まちづくり市民アンケート集計)	15.0% (H31)	12.8%	24.3%	15.2%	20.4%		30.0%	68.0%	C	公園施設長寿命化計画に基づき遊具の更新を行った。	引き続き遊具の更新及び草刈り等維持管理に努める。	都市整備課

第2期 美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

《基本目標4》 人口減少下においても、誰もが幸せに暮らせるまちをつくる

- (1) 基本的方向
 ①ひとが健康、まちも健康なまちづくりの推進
 ②安全・安心な地域づくりの推進
 ③生きがいづくりの推進

(2) 数値目標

数値目標	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R2~R6 累計	R6 目標値	達成率	進捗状況
自分が健康だと思う市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	64.9% (H31)	69.7%	53.3%	63.7%	67.8%		70.0%	96.9%	B
住みよいまちだと思う市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	44.4% (H31)	38.3%	45.8%	41.6%	38.1%		60.0%	63.5%	C
生きがいを持って暮らしている市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	62.7% (H31)	63.5%	66.1%	62.9%	67.8%		70.0%	96.9%	B

進捗状況の項目

- A: 目標値を超えたもの
 B: 目標値の約8割以上
 C: 目標値の5割以上8割未満
 D: 目標値の5割未満
 -: 取り組んでいない

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5事業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R2~R6 累計	R6 目標値					
①ひとが健康、まちも健康なまちづくりの推進												
健康づくりの推進												
健康づくりを行っている市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	65.8% (H31)	59.8%	63.4%	62.1%	47.2%		75.0%	62.9%	C	各ライフステージに応じた健康課題に対し、健康教育等を通して実践し、様々な保健事業の機会を通じ、また保健推進員や食生活改善推進員、運動推進員を通じて、健康づくりの啓発を実施。	コロナ禍による生活習慣の変化や社会や人とのつながりの減少によって健康意識や健康づくりに影響を及ぼしていることが考えられるため、コロナ禍で変化した生活習慣や地域を主体とした健康づくり活動を再構築し、市民が健康づくりの情報を得て、取組ことができる体制を他部署や関係機関と連携し整備する必要があります。	健康推進課
喫煙している成人市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	18.1% (H31)	17.6%	18.8%	16.0%	21.6%		10.0%	46.3%	D	美唄市受動喫煙防止条例について、駅にタバストリーを設置し、ポスター、チラシ、ホームページ等で周知啓発を実施。市内小中学生を対象にたばこに関するメッセージ募集を実施。各学校から全106作品の応募があり、コアビバイで表彰式及び展示会を開催。また、禁煙治療費助成事業を実施。	令和4年度から禁煙治療費助成事業を新たに実施し、喫煙率は低下傾向にあったものの、令和5年度は21.6%と高まった。加熱式タバコは紙巻タバコ同様に喫煙者と受動喫煙による健康影響があるといわれていることから、禁煙や受動喫煙防止に対する正しい情報発信がより一層求められると考えます。	健康推進課
地域医療体制と市立美唄病院の充実												
医療環境の満足度 (まちづくり市民アンケート集計)	-	-	49.8%	53.1%	55.4%		50.0%	110.8%	A	美唄市医師会の協力のもと救急医療体制維持 新病院建替え実施設計に基づき本体工事を実施、外構及び解体工事実施設計の策定 「市立美唄病院経営強化プラン」に掲げた経営形態の見直しに取り組み、地方公営企業法全部適用に移行 職員研修による職員の意識向上、診療環境や勤務環境の改善に努めた。	市内唯一の診療機能である救急、透析、小児等の医療の継続。 「市立美唄病院経営強化プラン」を推進し、診療体制の充実を図る。 実施設計に基づき建替え事業(外構及び解体工事)を着実に進めていく。 診療報酬改定に伴う施設基準の見直し、在宅医療の推進に向けた訪問看護ステーション化への準備、感染症対策やワクチン接種の実施など、市民が安心して暮らすことのできる地域医療体制づくりに取り組む。	市立病院
高齢者の介護予防等の推進												
自立高齢化率	79.9% (H30)	78.3%	78.2%	77.6%	77.3%		82.0%	94.3%	B	貯筋体操による介護予防、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座の実施。	感染症対策を十分に講じ、貯筋体操等の介護予防事業と認知症施策を実施した。今後においても高齢者の機能低下を予防する取り組みを継続して行っていく。	地域包括ケア推進課

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)							達成率	進捗状況	R5事業内容	達成状況の分析及び今後の取り組み	担当課
	基準値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R2~R6累計	R6目標値					
②安全・安心な地域づくりの推進												
地域で支える環境づくり												
地域活動に参加している市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	59.0% (H31)	52.8%	43.8%	46.1%	43.6%		現状値より 高める	73.9%	C	地域福祉大会の開催 地域福祉活動等経費の助成 民生児童委員活動の促進	事業を通じ、市民が地域活動を行うための 支援として今後も継続してに取り組む。	地域福祉課
災害に備えた活動の促進												
災害に備えて食料と水を備蓄している 市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	30.3% (H31)	33.7%	36.5%	40.4%	32.3%		45.7%	70.7%	C	1日防災学校、出前講座による防災教育	H30年胆振東部地震以降、大きな災害に見 舞われることがないこと、また、ローリングス トックが市民に浸透していないことなどから、 食料等の備蓄の動きが広がっていないもの と考えられることから、引き続き出前講座等 において備蓄について普及・啓発すること により、災害による被害の軽減を図る。	危機管理対策室
防犯活動や交通安全対策の充実												
交通事故発生件数	35件 (H30)	17件	25件	25件	16件		現状値より 減らす	218.8%	A	・交通安全教室の実施 ・各季の交通安全運動に伴う街頭啓発 ・自動二輪車への交通安全啓発 ・飲酒運転根絶キャンペーンなど	警察署、市内の関係団体と共に交通安全運 動を展開し、市民全体の交通安全意識を高 め、交通事故防止を図る。	生活環境課
消費者相談窓口を知っている市民の割合	43.0% (H31)	40.5%	44.8%	38.5%	34.0%		60.0%	56.7%	C	・市民向けに消費生活に関するパンフレット の配布 ・5月の消費者月間中に庁舎内にブースを設 置し啓発 ・消費生活展の開催	消費生活の情報提供、物価情報の収集及 び提供、消費者相談の充実により、市民の 消費生活の向上を図る。	生活環境課
③生きがいつくりの推進												
生涯学習・スポーツの振興												
生涯学習・スポーツに取り組んでいる 市民の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	35.3% (H31)	39.4%	50.1%	37.1%	35.8%		50.0%	71.6%	C	・市民カレッジの開催 ・ジョギングやウォーキングの距離測定アプリ の紹介	コロナ禍の影響で市民の生涯学習やスポ ーツへの取組が消極的になり一時的に低調な 割合になっている可能性があることから、今 後、数値が好転するよう様々な形で情報発 信し、生涯学習、生涯スポーツの機会の提 供に努める。	生涯学習課
高齢者の生きがいつくり												
生きがいを持って暮らしている高齢者 の割合 (まちづくり市民アンケート集計)	60.8% (H31)	59.6%	62.1%	64.0%	63.5%		70.0%	90.7%	B	・老人クラブの活動支援 ・シルバー人材センターの活動支援 ・福祉スポーツ大会の開催	老人クラブ、シルバー人材センターの支援、 福祉スポーツ大会を実施した。コロナ禍の 影響で市民の福祉スポーツに対する取組が 消極的となり、数値が低下した可能性があ る。今後、様々な形で情報発信をすると ともに、生きがいの創出を図る。	地域包括ケア推進課
障がい者の生きがいつくり												
地域で生活できている障がい者の割合	94.8% (H30)	97.5%	94.4%	94.5%	94.7%		96.7%	97.9%	B	在宅障がい者への生活サポートや日中一時 支援	障がい者や介護者の負担軽減することで、 障がい者の社会参加の促進を図る。	地域福祉課